

NOTE BOOK

RECORDING FOR VALUABLE DAYS OF ALL

敬学会賞第十九回入選作品



温度しらべ

四年三組

高橋 渉

CONTAINING BEST RULED FOOLSCAP
MARUKYO'S (YÔ) NOTE



TOKYO

研究したわけ

夏休み中に、なにか研究してみなさいと先生にいわれました。なにがいいかと考えましたが、ぼくは、休みにいなかにとまりにいくことになっていたので、どこにいてもしらべられる温度しらべをすることに決めました。そしてかんさつを始めたのです。

もくじ

- 1 ページ 気温のはかり方
2 ページ 〃
3 ページ 温度計をよむときの注意
4 ページ 〃
5 ページ 温度しるべ
6 ページ 〃
7 ページ 〃
8 ページ 〃
9 ページ 〃
10 ページ 〃
11 ページ 〃
12 ページ 1日の温度のかわり方
13 ページ 太陽の高さと気温
14 ページ 1日の気温のかわり方

もくじ

- 15 ページ 〃
16 ページ 場所による気温の変化
17 ページ 〃
18 ページ ま と め
19 ページ 〃
20 ページ 〃
21 ページ かんさつのはんせい
22 ページ 研究に使った物 せわになった人

(No1)

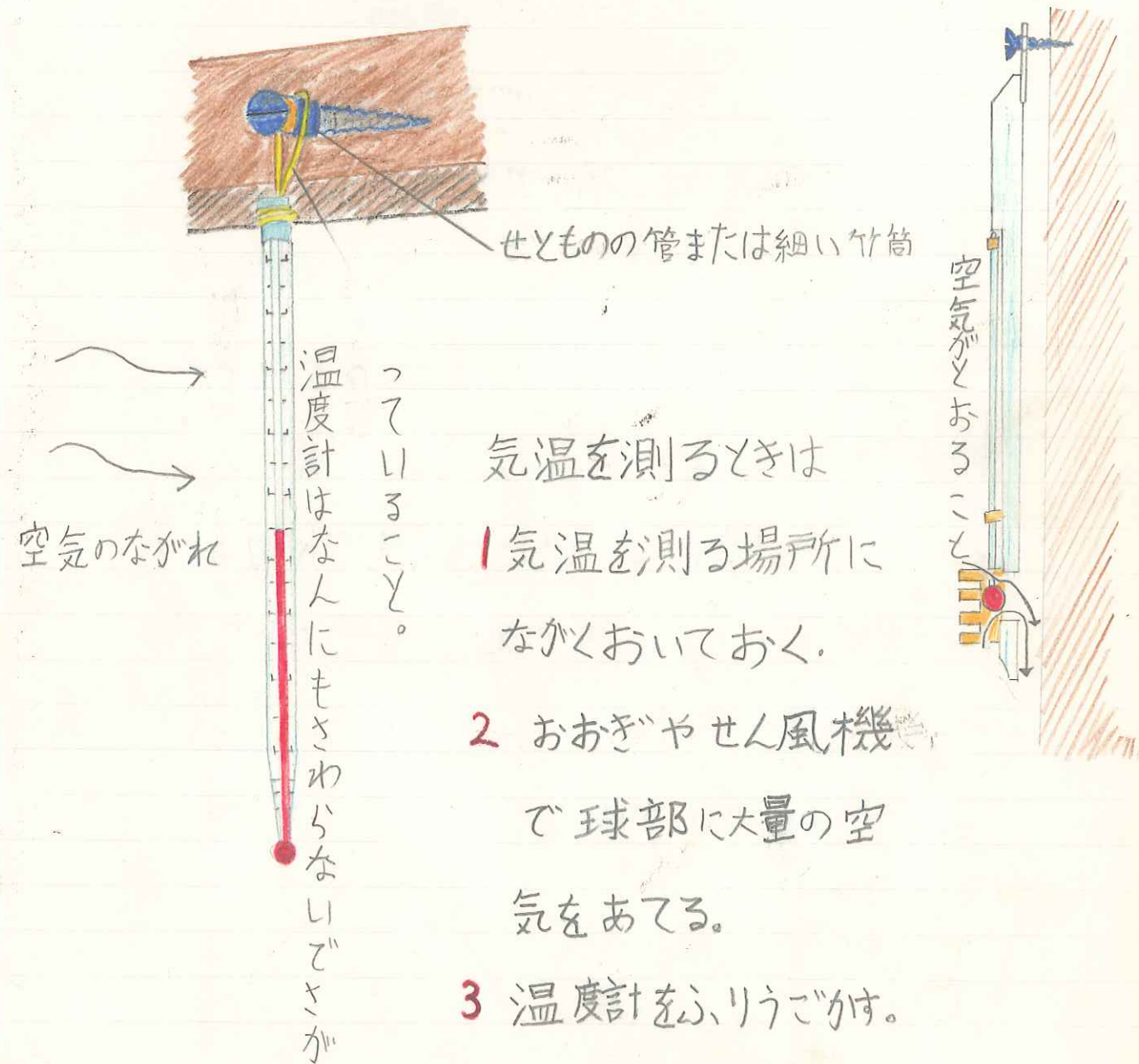
気温のはかり方

気温とはわたしたちのまわりの空気の温度、すなわち大気の温度です。ふつうに気温というとおおむね、人の生活する高さの気温で地表面から1.5メートルぐらいのところの気温をいうことになっています。気温をはかるには、温度計を大気にさらしておいて温度計の温度と大気の温度とがまったくひとしくなったときに温度計の水銀柱の頭と一致する目盛(示度)を正しくよみとればよいのです。また、大気と温度計の温度をひとしくするにはできるだけたくさんの量の空気を温度計の球部にあてればよいのです。

そうすれば、たとえ温度計の温度と気温とがひとくちがっていても、それはあついお風呂につめたい水をコップに一ぱいいれたようなもので温度計の温度は、すぐに気温とひとしくなってしまいます。そのためにおこる

(No2)

気温の変化は、つめたい水をコップに一ぱいいれてもお風呂のお湯がぬるくならないように、きわめて小さくまったくわからない程度のものです。



(No3)

・温度計をよむときの注意

温度計をよむときに直せつ手でもったり、からだにふれたりすると示度かわります。

それは温度計の温度より体温の方が高いとからだから温度計へ熱が伝わって、

温度計の温度が気温よりたかくなり、反対だとひくくなるからです。

だから温度計はできるだけはかたときそのままのかたちでよむことがかんじんです。

それから温度計をよむときにはく息がかかることもきん物です。夜の寒見測にはかい

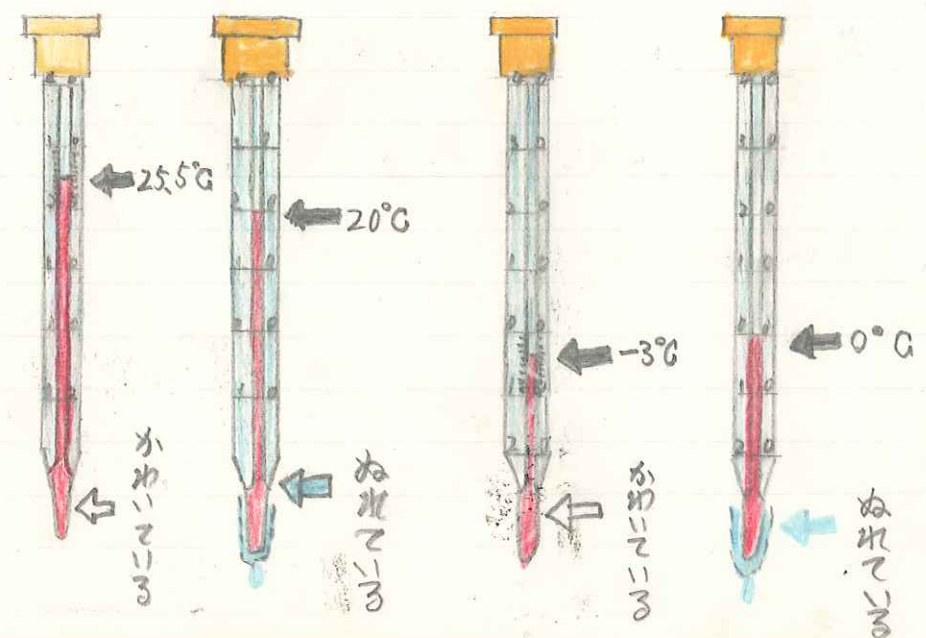
中電火灯をもちいます。ローソクやろうちんを温度計にちかちかづけてはいけません。

(No4)

・球部がぬれていてはなぜいけないか

水がじょうはつするときにはまわりからじょうはつ熱をうばうのでまわりの物体の温度がさがります。だから、温度計がぬれていると気温よりひくい温度をしめします。

水が氷になるときにはじょうこねつかでるので全部の水が氷になってしまうまで温度は氷点よりさがりません。ですから気温をはかるときには温度計はすっかりかわいていなければなりません。



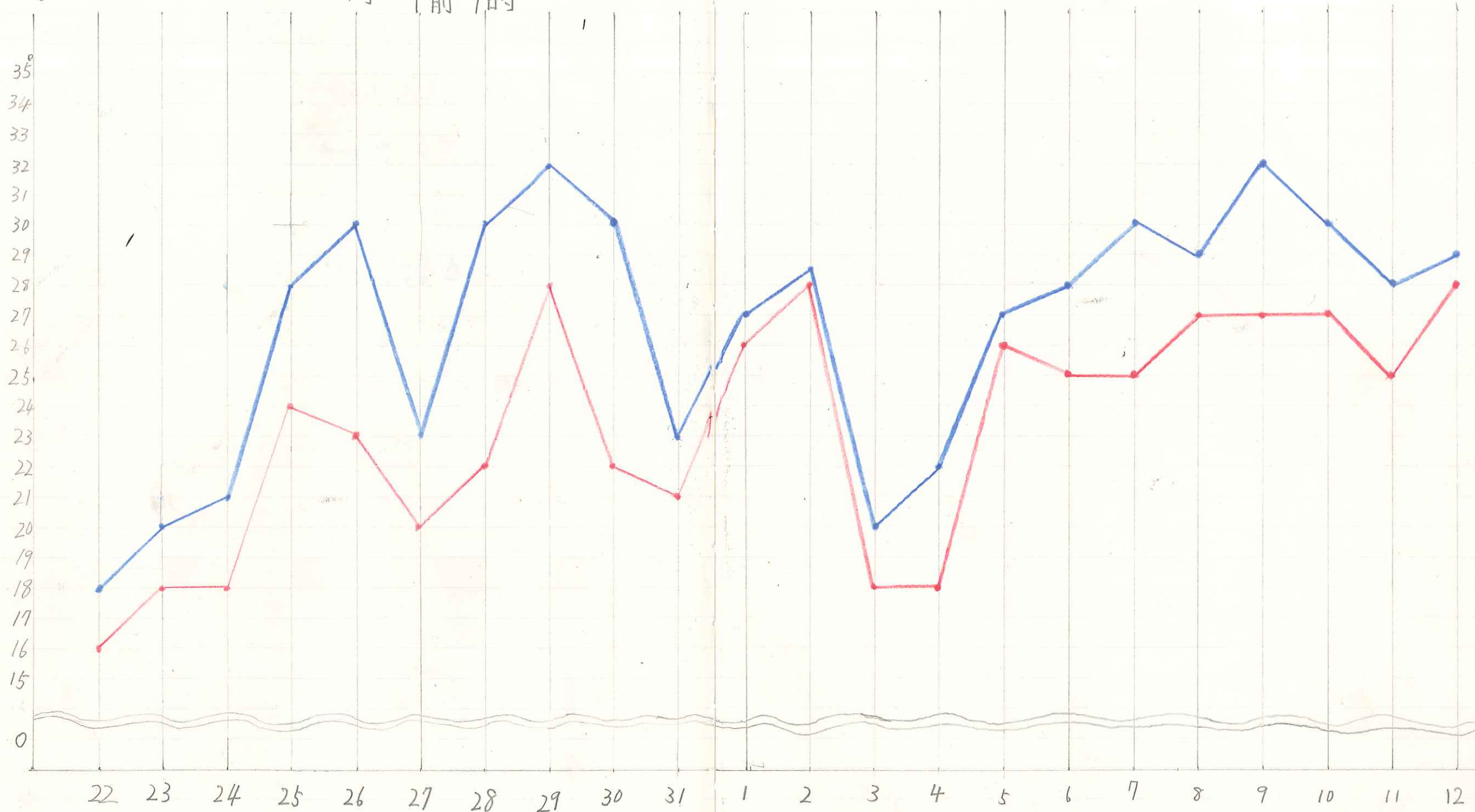
(No5)

7月

外 はかった時間
内 午前9時

8月

(No6)



(No7)

8月

外 はかった時間
内 午前9時

9月

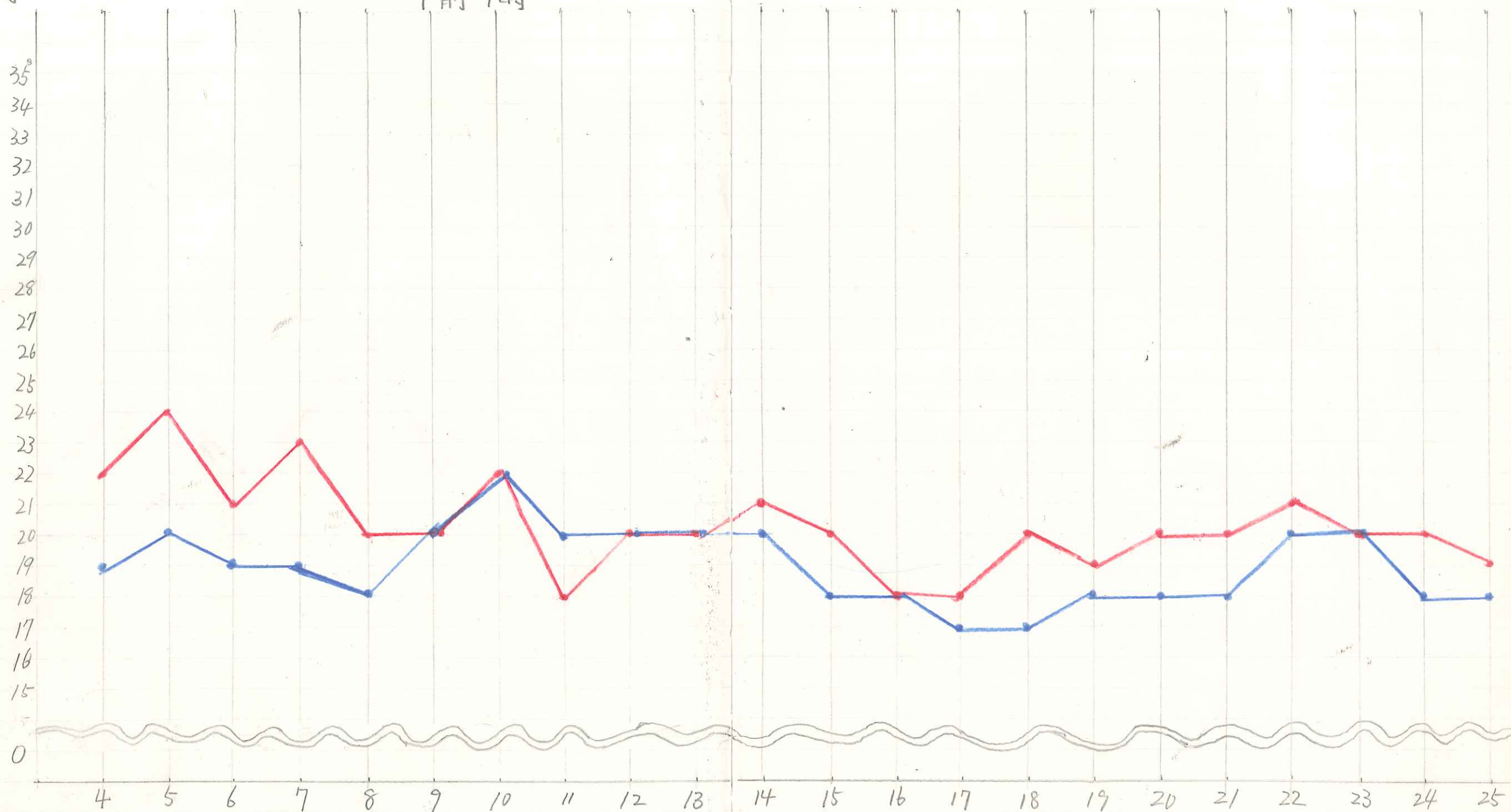


(No8)

(No 9)

9月

外 はかった時間
内 午前9時



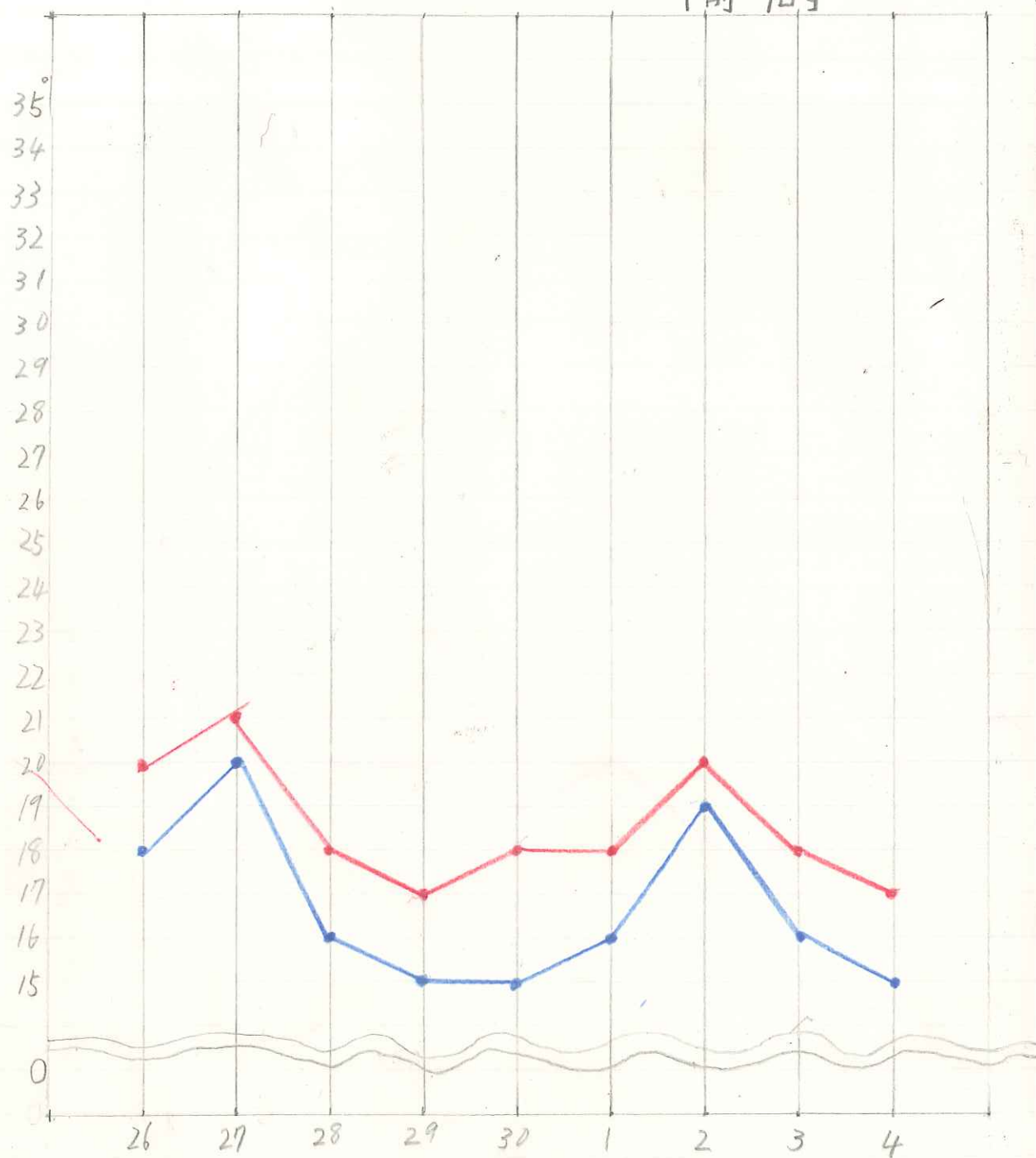
(No 10)

(No11)

9月

外
内

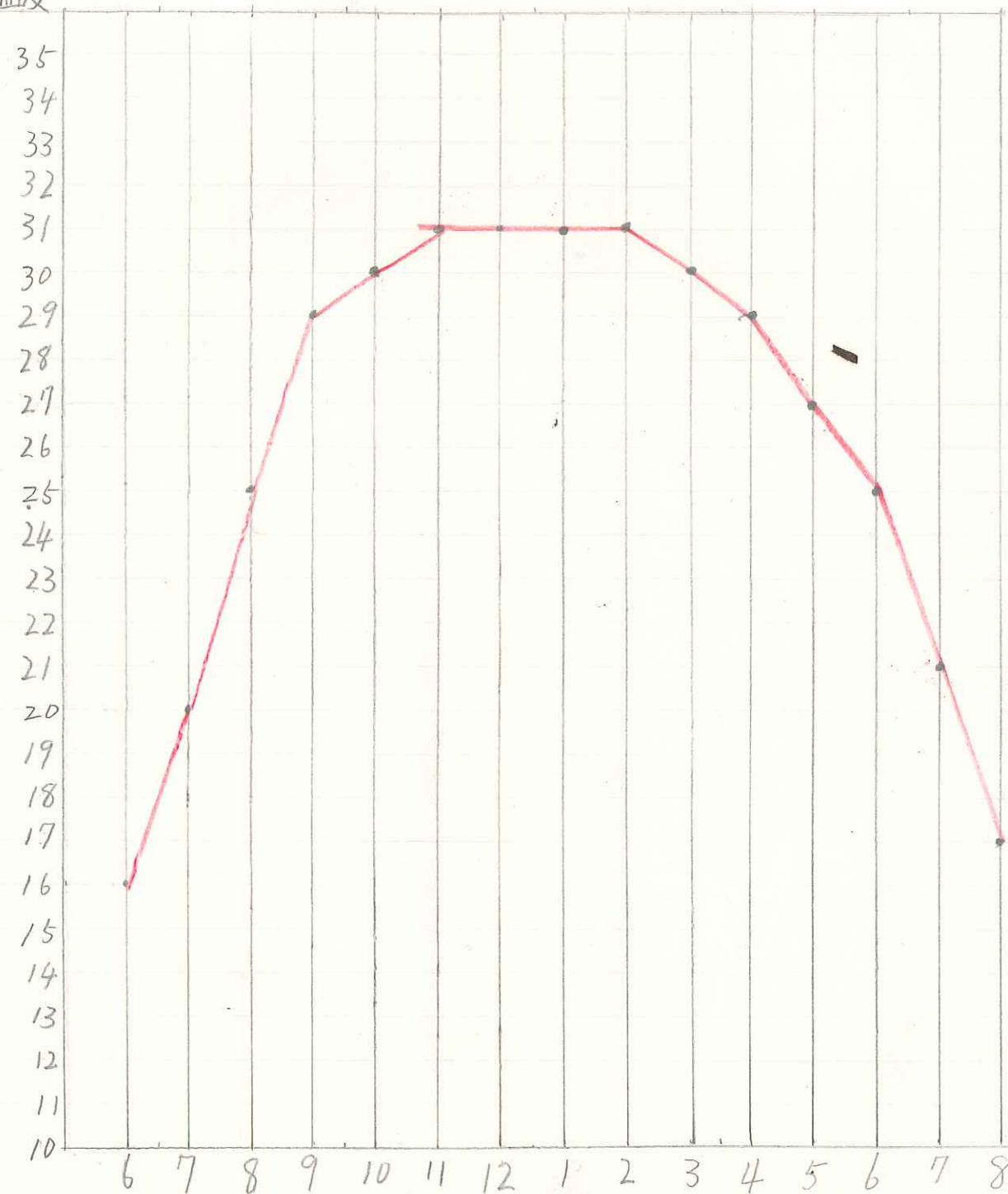
はかた時間
10月 午前9時



(No12)

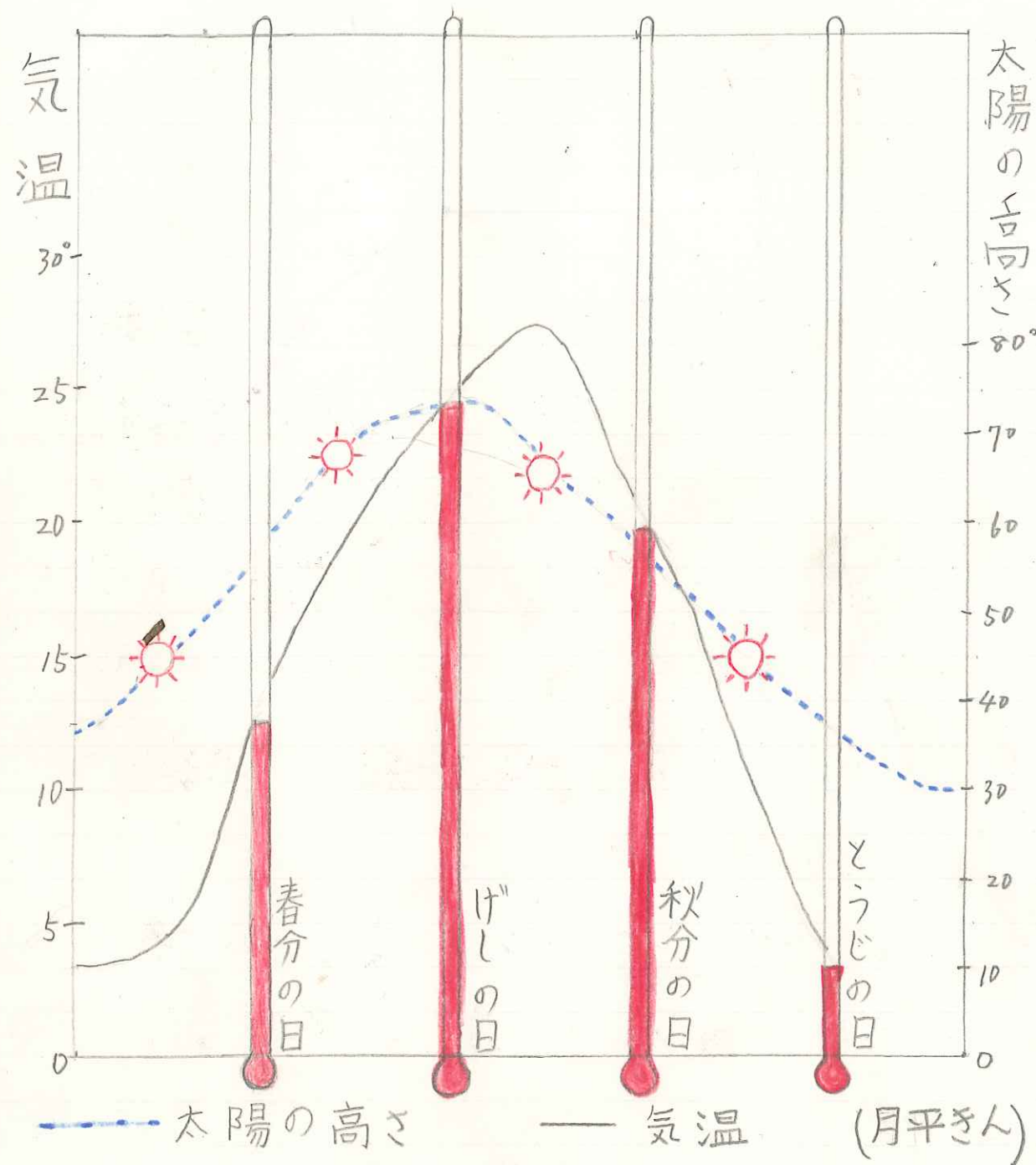
一日の温度のかわり方
(8月1日)

温度



(No13)

太陽の高さと気温 の1年の変化



(No14)

一日の気温のかわり方

暑いとか、さむいとか感じるのは、風のあ
るなしや、空気のしめりけのじょうたいによっ
てちかいます。

そのおもなものは、気温です。

これもその人の体しつや、ならわしによってもちか
いますか、だいたい室内では、10度以下にな
ると火がこいしくなり、25度以上になると
暑く感じます。また気温は季節によっ
てもかわります。

一日のうちでも、日中は太陽が高くなるの
で、気温があがります。

ちょっと考えると、太陽のもっとも高い正午ごろ
が最高気温になりそうなものですかじっさい

(No15)

は、太陽からのほうしゅねつを地表ふきの
水じょう気がきゅうしゅうして温度が高くなるの
で、正午ごろより、2時頃か一日でも、とき
高くなります。

• 温度計をおいた場所

内 風とうしのよい まどぎわの、はしら。

外 日のあたらない、のき下。

(No16)

場所による気温の変化

気温は、その土地の場所によって ちが
てきます。地球の赤道上は、太陽が
まじからてらるので気温が高く、北きよくち、
南きよのふきは、太陽が ななめに低いと
ころからてらるので放射ねつが少なく、
気温が低いわけではす。

これは 太陽が遠いとか、近いとかいうので
はなく、地球上で(い度) が高くなるほ
ど、太陽の放射ねつのうけかたは少なくな
って、気温は低いということです。

そのほか気温は土地の高くなるほど低く
だいたい百メートル高くなるにしたがって
0.6度のわりで気温がさがります。

(No17)

また気温は、海の水のえきょうも大いにうけます。海はあたたまりにくいがかさめにくく、地面はあたまりやすいがまた、さめやすいせいであります。

ことに だん流や、かん流かながわっていることによつて、同じ (い度) にあつても気温はちがってきます。

(No18)

まとめ

- (1) 気温とは、空気の温度のことであつて、ふつう、地面からおよそ1.5メートルぐぐりの高さのところの温度をいう。
- (2) 気温をはかるには、温度計を使って正しくはかる。
 - 温度には、水銀温度計とアルコール温度計とがある。ふつう目もりは (せし) でよむ。
 - 温度をよむには、えきのあたりのところの目もりを目に直角になるようによむ。
 - 気温をはかる場所は、日かげで風とおとのよいところではかる。

(No19)

- その日の気温は数回はかって平ぎんをもとめる。 1回の時は午前9時にはかる。

(3) 気温は1日のうちで変化する。

- いっぱんに気温のさい高をしめすのは午後2時ごろでさいてい気温は日の出めころである。
- 気温は時くによってかわる。これを気温のち変化という。

(4) 気温は季節によつて変化する。

- 太陽の高さが高くなると、気温はだんだん高くなる。 (年変化)
- 日本ではいっぱんにさい高をしめすのは7月、8月ごろでさいていをしめすのは1月か2月である。

(No20)

(5) 気温は場所によって変化する。

- 赤道上是気温が高く、(い度)が高くなるほど気温はひくい。
- 気温は土地の高さによってかわる
- 気温は海のえいぎょうによつてもかわる

(No21)

かんさつのはんせい

夏休みに温度しらべをして、ぼくの今までわからなかったことがいろいろわかりました。

たとえば、温度は土地や場所によってちがうことです。ぼくは休みにいなかのおむいちゃんのところにとまりに行っただけでそこでしらべた日が多かった。

ずっと山形にいてしらべたら、そしてもっと前からしらべたら、もっともっといろいろの事がわかったと思います。このしらべは、ぼくははじめてなので、しらべ方もよくわかりませんでした。けれど温度でなく、べっのこともしらべて見たいと思います。

(No22)

研究に使った物

1. 温度計
2. 温度しらべの本
3. 四季の天気の本

世話になった人

おかあさん

おにいさん

先生